

宇都宮農業協同組合との包括連携協定について

1 協定の目的

本協定は、宇都宮市及び宇都宮農業協同組合が相互に緊密な連携を図り、双方が有する情報やネットワークなどの知的・人的資源を活用しながら、農業の生産振興や地域の安全・安心の強化など、複数の施策事業において、連携・協力に取り組むことにより、地方創生のさらなる推進を図り、持続的なまちの実現を目的とする。

2 経緯

これまで宇都宮市と宇都宮農業協同組合は、農業分野において農業の維持・発展に向けた担い手育成・確保などに協力して取り組んできたところである。

このような中、農業協同組合は、国の「農協改革」を踏まえ、「地方創生への積極的な参画」を推進しており、宇都宮農業協同組合においても地域活性化に向けた取組を積極的に展開している。

また、本市においても、平成30年3月に策定した「宇都宮市第3次市民協働推進計画」に基づき、民間事業者との連携を強化することで、更なる協働の推進に取り組んでいることから、農業分野以外にも対象を広げた包括的な協定の締結に至ったもの。

3 協定の内容

(1) 協定事項

- ア 「農業王国うつのみや」の確立に向けた農業生産振興及び農業の基盤強化推進に関すること
- イ 地域の活性化に関すること
- ウ 地域住民に必要なサービスの提供による地域社会経済の持続的発展に関すること
- エ その他、宇都宮市地方創生に必要な事項の支援に関すること

(2) 期間

協定締結日から平成34年3月31日まで（以降、3年ごとの更新）

(3) 協定に基づく取組事項

- ア 「農業王国うつのみや」の確立に向けた農業生産振興及び農業の基盤強化推進に関すること
 - ・ 地域農業の担い手の育成・確保
 - 【重点】引き受け手のいない市内農地の守り手の育成・確保
 - ・ 耕種・園芸・畜産の総合的な生産振興

- ・ 特産品のブランド力向上
 - ・ 市民の農業参画の促進
 - 【重点】 地域の特色ある農業資源を活用した食農体験学習の推進
 - 【重点】 学校給食やイベント等を通じた食育・地産地消の推進
 - イ 地域の活性化に関すること
 - ・ 地域の観光振興
 - 【重点】 地域資源を活かしたグリーンツーリズム事業の強化
 - ・ 農業体験を通じた宇都宮市への移住促進
 - ウ 地域住民に必要なサービスの提供による地域社会経済の持続的発展に関すること
 - ・ 安全・安心な地域づくりの推進
 - 【県内初：重点】 野菜集荷場等の災害時の救援物資拠点としての利用
 - ・ J A 暮らしの活動（※）等を通じた地域活性化
 - 【重点】 J A 職員による見守り活動の実施
- ※ J A が農業体験や各種講座などを通して地域の暮らしをサポートすることにより、豊かで暮らしやすい地域社会の実現を目指す活動
- エ その他、宇都宮市地方創生に必要な事項の支援に関すること

4 期待される効果

- ・ 本市農業の「生産体制の整備」と「需要に応じた作物生産」の強化
- ・ 食農体験や観光などの一体的な推進による地域の活性化
- ・ 災害への対応力の向上
- ・ 見守り活動等による日常の安心感の向上

5 今後のスケジュール

- ・ 協定締結の調印式
 - 日時：平成30年11月5日（月）午後4時30分～5時00分
 - 会場：市役所3階 特別会議室

【参考】

「包括連携協定」とは

- ・ 本市では、分野ごとに締結する個別協定ではなく、複数分野の施策事業において連携・協力する事項を取りまとめて締結する協定を「包括連携協定」としている。